

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

| | | | | |
|--------|--|-------|--|---|
| 部門・学部 | 肢体不自由教育部門 小学部 | | 学 年 | 5年 |
| 教科等名 | 日常生活の指導 | | 学習グループ(教育課程) | A(自立) |
| ねらい | (1) 給食に向け、身支度を整える (2) 下校のスクールバス乗車に向け、心身の準備をすることができる | | | |
| 担当教員 | 教員：多島康美・福澤誠人・山口みのり・大熊しのぶ CG：日隈智恵・徳田めぐみ | | | |
| 年間授業時数 | 346.8単位時間 | | | |
| 使用教科書 | なし | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点) | 指導の工夫 |
| 4 | <p><通年></p> <p>「給食前の取り組み」</p> <p>「下校前の取り組み」</p> | 346.8 | <p>○排せつ指導・リラクゼーション、座位保持椅子への移乗、給食準備</p> <p>◆排せつがあったことを伝えたり、おむつ交換をした後の気持ちよさを声や表情で表したりする。</p> <p>◆トイレでの排せつ経験を積み、トイレで排せつしようと思う気持ちを育てる。</p> <p>◆移乗や着替え等で協力動作ができる。</p> <p>◆リラクゼーションを図り、エプロンを付ける等の準備を通して、心身ともに給食を食べる準備をする。</p> <p>○排せつ指導・リラクゼーション、下校準備・車いすへの移乗</p> <p>◆排せつがあったことを伝えたり、おむつ交換をした後の気持ちよさを声や表情で表したりする。</p> <p>◆トイレでの排せつ経験を積み、トイレで排せつしようと思う気持ちを育てる。</p> <p>◆移乗や着替え等で協力動作ができる。</p> <p>◆スクールバス乗車(下校)に向けてリラクゼーションを図り、心身ともに安定した状態を整える。</p> <p>◆靴の履き替え、バッグに給食袋を入れる等、下校の準備をする。</p> | <p>・排せつ指導では言葉掛けや決まった動作等で、児童の協力動作を引き出すようにする。</p> <p>・実態に応じて手洗い指導と手拭き指導を継続的に行う。</p> |
| 5 | | | | <p>・実態に応じて手洗い指導と手拭き指導を継続的に行う。</p> |
| 6 | | | | <p>・実態に応じて、バッグに自分で給食袋や水筒を入れる等の支度をする。</p> |
| 7 | | | | <p>・実態に応じて、バッグに自分で給食袋や水筒を入れる等の支度をする。</p> |
| 9 | | | | <p>・内履きから外履きに履き替える際に、タッピングや言葉掛け等をして協力動作を促す。</p> |
| 10 | | | | <p>・内履きから外履きに履き替える際に、タッピングや言葉掛け等をして協力動作を促す。</p> |
| 11 | | | | <p>・上着の着脱等について、言葉掛け等で協力動作を促し、自分で脱ぎ着しようとする意識を高める。</p> |
| 12 | | | | <p>・上着の着脱等について、言葉掛け等で協力動作を促し、自分で脱ぎ着しようとする意識を高める。</p> |
| 1 | | | | <p>・上着の着脱等について、言葉掛け等で協力動作を促し、自分で脱ぎ着しようとする意識を高める。</p> |
| 2 | | | | <p>・上着の着脱等について、言葉掛け等で協力動作を促し、自分で脱ぎ着しようとする意識を高める。</p> |
| 3 | | | | <p>・上着の着脱等について、言葉掛け等で協力動作を促し、自分で脱ぎ着しようとする意識を高める。</p> |

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

| | | | | |
|--------|--|--|---|---|
| 部門・学部 | 肢体不自由教育部門 小学部 | | 学 年 | 5 年 |
| 教科等名 | 国語・算数 | | 学習グループ（教育課程） | A（自立） B（知的代替） C（準ずる） |
| ねらい | 国語 | <p>（知・技）日常生活に必要な身近な言葉に慣れ親しみ、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。</p> <p>（思・判・表）物語や言葉が表す事柄をイメージしたり、受け止めたりする力を養い、人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつ。</p> <p>（主）言葉がもつよさを感じるとともに、図書や物語に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p> | | |
| | 算数 | <p>（知・技）示された事物や音に注目し、目で追ったり、手を伸ばしたり、操作しようとしたりする。</p> <p>（思・判・表）音や光、振動などの教材を通して、手指の操作性を高める。</p> <p>（主）身の回りにあるものに興味をもち、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。</p> | | |
| 担当教員 | 教員：多島康美・福澤誠人・山口みのり・大熊しのぶ CG：日隈智恵・徳田めぐみ | | | |
| 年間授業時数 | 73単位時間 | | | |
| 使用教科書 | 14ひきのびくにつく（童心社） ひらがなことばカード2集（くもん出版） いくつかな（ひかりのくに） | | | |
| 月 | 単元（題材）名 | 指導時数 | ○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点） | 指導の工夫 |
| 通年 | 個別学習課題 | | ○個に応じた課題を行う ◆目と手の供応動作の向上を目指す。 ◆押す、引く、持つ、握る等の動作で、具体物の操作ができる。 ◆「はい、いいえ」や視線、手で触れるなど、自分なりの方法で意思を伝える。 | ・児童の体調に合わせて姿勢や時間を調整する。 ・個々の課題に合わせて、提示するものや操作するものを設定する。 |
| 4 | お話を楽しもう | 22 | ○教科書を知る | ・集中して取り組めるよう、衝立の使用や明るさなど教室環境を整える。 ・児童の体調に合わせて姿勢や時間を調整する。 |
| 5 | | | ・「14ひきのびくにつく」「いくつかな」をICT機器等使い見たり聞いたりする。 | |
| 6 | | | ◆教師の動きや音などを支えに、物語を見聞きし続ける。 | |
| 7 | | | ◆簡単なやり取りに発声や動作などで答えようとする。 ◆再現活動では、一緒に声を出したり、主体的に身体を動かしたりする。 | |
| 9 | お話を楽しもう | 33 | ○日本の物語を知ろう | ・読み物教材は、場面の切り替えが捉えやすい題材を選ぶ。 ・児童の実態に |
| 10 | | | ・「うらしまたろう」「かぐやひめ」などの物語に親しむ。 ◆身近な言葉に親しみ、言葉のイメージを広げる。 | |

| | | | | |
|----|---------|------|--|--|
| 11 | | | ◆絵本に出てくる伝統的な日本文化や身近な物に親しみ、興味をもつ。 ◆簡単なやり取りに発声や動作などで答えようとする。 | 合わせて集中しやすいように物語を提示する。 |
| 12 | | | ◆劇遊びでは表情や発声、動作で自分の意思を伝えようとする。 | |
| 1 | お話で楽しもう | 18.4 | ○ごっこあそびをしよう ・いろいろなお店の絵本を読み、お店について知る。 | ・大きさや形が扱いやすい具体物を選び、自主的な手指の動きを引き出せるようにする。 |
| 2 | | | ◆話の見通しをもちながら、見たり聞いたりすることができる。 | |
| 3 | | | ◆教師の話や読み聞かせに応じて、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 ◆ごっこ遊びを通してやりとりの楽しさを知る。 | |

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

| 部門・学部 | | 肢体不自由教育部門 小学部 | | 学 年 | 5 年 |
|--------|------------|--|---|---|-------|
| 教科等名 | | 図画工作 | | 学習グループ(教育課程) | A(自立) |
| ねらい | | (知・技)様々な感触の素材に触れ、興味をもって見たり、触ったりして、進んで働きかけることができるようになる。 (思・判・表)色や形を自分なりの方法で選び、自分の身体や手指を使って質感や変化を経験して、伸び伸びと表現するとともに、作り出す楽しさに気付く。 (主)自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりすることができる。 | | | |
| 担当教員 | | 教員：多島康美・福澤誠人・山口みのり・大熊しのぶCG：日隈智恵・徳田めぐみ | | | |
| 年間授業時数 | | 74.4単位時間 | | | |
| 使用教科書 | | たのしいこうさくきょうしつ1(さ・え・ら書房) | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点) | 指導の工夫 | |
| 4 | こいのぼりを作ろう | 6 | ○紙の感触を楽しみ、ちぎったり丸めたりする ・ちぎった紙を鱗にして貼りこいのぼりを作る ◆自ら紙を触ったり、ちぎったりできる | ・紙をちぎる際どっちもクリップや補助具を使用し自ら素材の紙をちぎれるようにする | |
| 5 | アジサイの絵を描こう | 12 | ○4色の色の中から好きな色を選び、手を動かしてスタンプする ・ペットボトルキャップなどを使用しスタンプでアジサイの花を描く ◆好きな色を選び、手を動かしスタンプできる | ・スタンプしやすいように児童の動きに合わせて持ち手にペットボトルキャップを付ける | |
| 6 | 天の川を描こう | 6 | ○スパッタリングの技術を体験する ・黒い模造紙に跡をつけ天の川を作る ◆道具を持って擦り色の変化に気付く | ・滑り止め等を使用し持ち手を持ちやすくする | |
| 7 | ヒマワリを作ろう | 6 | ○お花紙を丸めて、刷毛で糊付けする ・お花紙を丸めて模造紙に貼る ◆お花紙を指に力を入れて丸め、刷毛で糊付けした台紙に置くことができる | ・糊は、刷毛で塗りやすくなるように水を入れて柔らかくしておく | |
| 9 | スチレン版画をしよう | 8 | ○スチレン版画の技術を体験する ・スチレンボードにマジックで線を描き、版を作って印刷する ◆スチレンボードにマジックで線を描くと凹凸ができることに気付く | ・マジックはスチレンボードの溶けるものを準備し、持ちやすいように工夫する | |
| 10 | 型抜きを楽しもう | 9 | ○紙粘土を型抜きする技術を体験する ・紙粘土を型抜きし、組み合わせて作品を作る ◆紙粘土を触る中で形の変化に気付く | ・軽い粘土を使用し、型は抑える部分に板を置くなど工夫をする | |
| 11 | | 6 | | | |
| 12 | 季節の飾りを作ろう | 4 | ○糊やボンド、両面テープで貼り付ける ・台紙に色々な物を貼ってリースを作る ◆刷毛や筆を持って糊付けしたり、両面テープを剥離したりすることができる | ・糊やボンドは貼り付けるものに合わせ粘度を変えるようにする | |
| 1 | 干支(馬)を描こう | 5 | ○モップで大胆に描く経験をする ・モップに墨を付け馬の絵を描く ◆墨の匂いを感じながらモップを動かすと線が描けることに気付く | ・児童の持ちやすいポジション(座位、立位)を考えながら取り組む | |
| 2 | 春の装飾を作ろう | 7.4 | ○絵の具を刷毛で塗ったり、紙をちぎったり貼ったりしながら作品を作る ・ちぎった紙を貼り合わせて桜の木を作る ◆共同作品を作成することで、出来上がる過程を見ながら作品の変化に気付く | ・児童の得意な動きを促せるように、刷毛の持ち手やちぎる際の補助具を効果的に使用する | |
| 3 | | 5 | | | |

令和6年度東京都立鹿本学園年間指導計画

| 部門・学部 | 肢体不自由教育部門 小学部 | | 学 年 | 5年 |
|--------|--|------|---|--|
| 教科等名 | 音楽 | | 学習グループ（教育課程） | A（自立） |
| ねらい | (1) すすんで音楽に関わり、音楽を心地よく聴いたり声を出したりする。 (2) 身近な楽器に親しみ、音色に関心をもって自分から音を出そうとする。 (3) 声や身の回りの音の面白さに気付き、音を音楽にすることを楽しむ。 | | | |
| 担当教員 | 教員：多島康美・福澤誠人・山口みのり・大熊しのぶ CG：日隈智恵・徳田めぐみ | | | |
| 年間授業時数 | 78単位時間 | | | |
| 使用教科書 | うたえほん（グランまま社） | | | |
| 月 | 単元（題材）名 | 指導時数 | ○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点） | 指導の工夫 |
| 4 | 季節の歌に親しもう（春・夏） | 28 | ○始まりの歌、準備体操、終わりの歌（通年） ○楽器を鳴らしてご挨拶 ◆合図に気付き、自分から声を出したり楽器を鳴らしたりする。 ○季節の歌（春夏） ◆春から夏にかけての楽曲に親しむ。曲調やリズムを楽しみながら聴く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業に見通しがもてるよう、大まかな流れは年間を通して同じにする。 ・始まりと終わりの歌を歌い、音楽の授業の始まりと終わりを意識付ける。 ・児童が扱い易い楽器を使用する。（バチの長さ、重さなどに配慮する） |
| 5 | 自分だけの楽器を作ろう。 | | ○器楽（手作り楽器） ◆身近なもので太鼓やギター、マラカスなどの楽器を作成し、年間通して使用できるようにする。 | |
| 6 | 日本の伝統音楽に親しもう。 | | ○身体表現（盆踊りなど） ◆教職員と一緒に身体を動かしながら、楽曲のテンポや拍やリズムを感じる。 ◆音が鳴っている時は動く、音が止まったら止まる、高い音の時は速く動く、低い音の時はゆっくり動くなど音楽に合わせて体を動かす。 | |
| 7 | | | ○鑑賞（日本舞踊、雅楽など） | |
| 9 | 季節の歌に親しもう（秋・冬） | 35 | ○季節の歌（秋冬） ◆秋から冬にかけての楽曲に親しむ。好きな曲調やリズムを知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・童謡、唱歌だけでなく、ポピュラー音楽も取り入れ、楽しめる音楽の幅を広げられるよう楽曲を設定する。 ・繰り返しにより、見通しや期待感をもって取り組めるようにする。 |
| 10 | 日本の音楽、世界の音楽に親しもう。 | | ○器楽「こきりこ節」「風とケーナのロマンス」等 ◆友達の演奏する様子に関心を向けたり、奏でる音色に耳を傾けたりし、自分もやってみたいという気持ちをもつ。 | |
| 11 | | | ○鑑賞；「子もり歌」「冬げしき」等 ◆いろいろな曲調の曲を聴き、感じた気持ちを表情や身体の動き等で表現する。 | |
| 12 | | | | |

| | | | | |
|---|-------------------------|-----|--|---|
| 1 | 季節の歌に親 しもう(冬・春) | 1 5 | ○季節の歌(秋冬) ◆季節の歌に親しむ。楽曲のテンポやリズム の特徴を感じ取りながら聴く。 ○身体表現(組曲「カレリア」等) ◆歌に合わせて身体を動かし、リズムや曲の 雰囲気を感じ取る。 ○楽器演奏(「ゆかいに歩けば」など) ◆自分の得意な動きを活用して楽器を演奏 する。友達の楽器の音を聴く。合奏する。 | ・強弱や速さの違 いが分かりやす い曲を用いる。 ・鑑賞では視覚的 にも曲調を捉え られる教材を用 いる。 |
| 2 | オーケストラ の響きを楽し もう。 | | | |
| 3 | 1年の振り返り をしよう | | | |

令和6年度は【始まるの歌→名前呼び(タンバリンで返事)→体操→展開①(季節の歌・器楽・身体表現など)→展開②(鑑賞)→まとめ→終わりの歌】の流れで授業を行った。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

| 部門・学部 | | 肢体不自由教育部門 小学部 | | 学 年 | | 5 年 | |
|--------|--------------------|---|--|--------------|--|--|--|
| 教科等名 | | 体育 | | 学習グループ（教育課程） | | A（自立） | |
| ねらい | | <p>(知・技) 心身をリラックスさせて身体を動かし、身体を動かす楽しさを味わう。</p> <p>(思・判・表) 様々な姿勢や動きを受け入れ、すすんで身体を動かそうとする。</p> <p>(主) 用具を使った運動に取り組み、それに合った身体の動かし方を知るとともに、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。</p> | | | | | |
| 担当教員 | | 教員：多島康美・福澤誠人・山口みのり・大熊しのぶ CG：日隈智恵・徳田めぐみ | | | | | |
| 年間授業時数 | | 74 単位時間 | | | | | |
| 使用教科書 | | やさいのおしゃべり（金の星社） | | | | | |
| 月 | 単元（題材）名 | 指導時数 | ○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点） | | | 指導の工夫 | |
| 通年 | 身体を伸ばそう、動かそう（準備体操） | | ○ストレッチ、リズム運動 ◆動かしている部位を意識し、動かす感覚を受け止めたり、大きく動かしたりする。 | | | ・繰り返し取り組むことで大きな動きを引き出す。 | |
| 4 | サッカーしようぜ | 20 | ○ボール遊び ・一つのボールを友達同士で回したり、的めがけてシュートしたりする。 | | | ・安全に注意して床坐位でボールを転がせるようにする。 ・実態に応じて距離を調整する。 | |
| 5 | | | ◆ボールに注目しながら、教員と一緒に腕、足などを動かし、ボールをパスしたり、シュートしたりすることができる。 | | | | |
| 6 | 水泳指導 | 16.8 | ○水遊び ・水慣れ、背浮き、水中歩行等 ◆水やプールに慣れ親しむ。 | | | ・体温や表情、唇の色等に注意し、体調管理を徹底する。 ・安心しやすい姿勢で始め、緊張を緩めやすくする。 | |
| 7 | | | ◆浮力を利用して身体の緊張を緩め、心身をリラックスさせる。 | | | | |
| 9 | | | ◆水中で身体をたくさん動かしたり、浮力を利用してバランスをとったりする。 | | | | |
| 10 | 箱倒しリレー | 18 | ○体づくり遊び ・箱を倒して、次の友達にタッチする。 ◆箱に注目しながら、手足を動かしたり、歩いたりして箱を倒す。 ◆友達を意識してバトンを受け渡す。 | | | ・実態に応じて箱の大きさや積み方、移動距離を変える。 | |
| 11 | デフリンピック | | ○デフリンピックを知ろう ・現在行われているデフリンピックを鑑賞する。 | | | | |
| 12 | | | ◆ろう者のスポーツに興味をもち、いろいろなルールを知る。 | | | | |

| | | | | |
|---|-------|----|---|--------------------------------|
| 1 | マット運動 | 19 | <p>○器具を使ったあそび</p> <p>・一人ずつマットの上を体を動かし移動する。</p> <p>◆寝転がったり、体をねじったり、四つ這いになったり様々な体の動きができる。</p> | <p>・リラックスした姿勢で大きく動かすことを促す。</p> |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

| 部門・学部 | | 肢体不自由教育部門 小学部 | | 学 年 | 5 年 |
|--------|--------------|---|--|--------------------------------|--------|
| 教科等名 | | 生活単元学習 | | 学習グループ (教育課程) | A (自立) |
| ねらい | | (知・技)様々な活動を通して、自分、身近な人、社会、自然に関心を持ち、生活において基本的な習慣や「技術を身に付ける。 (思・判・表)植物の生長の観察、季節行事を通して自然の変化や季節を感じ、興味・関心の幅を広げることができる。 (主)教職員や友達と一緒に様々な活動を楽しみながら、生活経験の幅を広げていく。 | | | |
| 担当教員 | | 教員：多島康美・福澤誠人・山口みのり・大熊しのぶ CG：日隈智恵・徳田めぐみ | | | |
| 年間授業時数 | | 73.6 単位時間 | | | |
| 使用教科書 | | もーいいかいまあだだよ (福音感書店) / うんちしたのはだれよ! (偕成社) せんろはつづく (金の星社) / もりのともだち (富山房) | | | |
| 月 | 単元 (題材) 名 | 指導時数 | ○主な学習内容、◆ねらい (評価の観点) | 指導の工夫 | |
| 4 | 仲良くなろう | 5.4 | ○新しい先生と一緒に遊び交流を深める ・自己紹介、集団遊び等 ◆新しく学年に来た先生と一緒に遊ぶ経験を通してコミュニケーションをとる | ・児童が今まで親しんできた遊びを行う | |
| 5 | 季節を感じよう ① | 5 | ○野菜を植え、育てる ・苗・種植え、水やり等 ◆土や草の感触を受け止め、自分から触る | ・児童が自分から触れるように姿勢や道具に配慮する | |
| 6 | 移動教室に行こう | 9.4 | ○移動教室とは何かを知り、期待感を持つ ・事前学習、事後学習等 ◆移動教室に見通しを持ち、スムーズに移動教室に気持ちを向ける | ・移動教室で経験する内容を疑似体験できる内容を事前学習で行う | |
| 7 | 季節を感じよう ② | 3 | ○水遊び、氷遊び ・足水、シャボン玉遊び、かき氷等 | ・外気温を見ながら実施場所を工夫しながら行う | |
| 9 | | 5 | ◆気持ちよさ冷たさを感じる | | |
| 10 | 虹輝祭に向けて | 5.4 | ○虹輝祭に期待を持つ ・虹輝祭の舞台発表鑑賞、作品鑑賞 ◆自分や友達の作品や劇を鑑賞する | ・昨年の写真を見て思い出し、見通しが持てるようにする | |
| 11 | 社会見学に行こう | 4.4 | ○社会見学の概要を知る ・社会見学事前事後学習等 ◆社会見学に見通しをもち楽しむ | ・児童が見通しを持てるようにビデオ等を取り入れる | |
| 12 | 新年を迎える準備をしよう | 8 | ○年末や年始の飾りを作る ・門松づくり、鏡餅づくり等 ◆季節の風景に注目する体験をする | ・写真や動画を効果的に取り入れる | |
| 1 | 書道展に向けて | 5 | ○書道に親しむ ・書初め ◆手腕をたくさん動かして表現する | ・個々に応じた持ち易い持ち手の筆を用意し使用する | |
| 2 | 他学部の友達と交流しよう | 6 | ○部門間交流 ・交流遊び ◆N部門の友達と仲良く交流する | ・事前学習が積めるように経過を立てる | |
| 3 | 6年生になろう | 10 | ○小学部最高学年になることを知る ・6年生へのインタビュー等 ◆卒業式参加に向けて見通しをもつ | ・卒業式参加を視野に入れ6年生と交流する | |

| | | | | |
|----|------------------|---|---|------------------------------------|
| 通年 | 英語で遊ぼう 本に親しもう | 7 | ○外国語や絵本に親しむ ・ALTの指導、図書室の利用や読み聞かせ ◆外国語や絵本に楽しく親しむ | ・ALTや読み聞かせ ボランティアに児童 の実態を伝える |
|----|------------------|---|---|------------------------------------|

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

| 部門・学部 | | 肢体不自由教育部門 小学部 | | 学 年 | 5年 |
|--------|--------------------------------|--|---|--|-----------------|
| 教科等名 | | 特別活動 | | 学習グループ(教育課程) | A(自立) C(準ずる) |
| ねらい | | <p>(知・技) 集団の活動の中で、学年の友達や他学年の友達に意識を向ける。 (思・判・表) 児童の交流の機会を通して、帰属意識や信頼関係を養い、集団で楽しく活動する経験を積み重ね、自分の気持ちを伝えようとする。 (主) 教職員や友達との交流を通して、よりよい人間関係を育て、社会性を育む態度を養う。</p> | | | |
| 担当教員 | | 教員：多島康美・福澤誠人・山口みのり・大熊しのぶ CG：日隈智恵・徳田めぐみ | | | |
| 年間授業時数 | | 37単位時間 | | | |
| 使用教科書 | | なし | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点) | 指導の工夫 | |
| 4 | 始業式 自己紹介 | 10 | ○各行事 ・新入生歓迎会、始業式、移動教室、終業式等 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆学期の始まりと終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ◆移動教室を通して保護者と離れて友達と一緒に宿泊する経験をする。 ○学年活動(他学年交流を含む) ・教職員紹介、交流遊び、簡単なゲームや歌 ◆歌やゲーム、交流を通して、集団での活動の雰囲気や挨拶、ルールについて知る | ・学習グループの異なる児童同士が関わることに主軸を置いた内容を設定する・学校行事の特質を生かし、特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る | |
| 5 | 新入生歓迎会 学年の時間 | | | | |
| 6 | 移動教室 クラブ活動 | | | | |
| 7 | 他学年交流 終業式 | | | | |
| 9 | 始業式 学年の時間 | 16 | ○各行事 ・終業式等 ◆学期の始まりと終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る ○学年の時間(他学年交流を含む) ・季節を感じる遊び、簡単なゲームや歌等 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める | ・準ずる教育課程の児童の役割を明確にし、教育課程の異なる児童の集団でのねらいを設定していく ・学校行事の特質を生かし特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る | |
| 10 | クラブ活動 他学年交流 | | | | |
| 11 | 終業式 | | | | |
| 12 | | | | | |
| 1 | 始業式 6年生を送る会 | 11 | ○各行事 ・6年生を送る会、始業式、修了式 ◆学期の始まりや学年の終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ○学年の時間(他学部・他学年交流を含む) ・冬の遊び、進級に向けて1年の振り返り ◆卒業式への参加を通して次年度への期待感をもつ。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。 | ・児童が見通しをもち、安心して参加できるよう視聴覚教材や身体活動を伴う教材を準備する。 ・学校行事の特質を生かし特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る | |
| 2 | 学年の時間 クラブ活動 | | | | |
| 3 | 他学年交流 N部門との交流 卒業式 修了式 | | | | |

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

| 部門・学部 | 肢体不自由教育部門 小学部 | 学 年 | 5年 | |
|--------|---|--|--|---|
| 教科等名 | 自立活動 | 学習グループ(教育課程) | A(自立) | |
| ねらい | (知・技) 将来を見据えて必要な取り組みを積み重ねることで、身体の動かし方を知る (思・判・表) コミュニケーションの基礎を身に付けたり、安定した気持ちで生活したりできるようにする。 (主) 身体の緊張等を緩め、心身の状態や生活リズムを整える | | | |
| 担当教員 | 教員：多島康美・福澤誠人・山口みのり・大熊しのぶ CG：日隈智恵・徳田めぐみ | | | |
| 年間授業時数 | 334.8単位時間 | | | |
| 使用教科書 | なし | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点) | 指導の工夫 |
| 4 | <通年> 身体を取組 | 334.8 | ○健康観察【健康の保持】 ◆検温や適切な水分摂取を通して体調を整え、学習に向かう健康状態を整える。 | ・自立活動担当教員、外部専門員とも連携しながら、個別の課題も把握し、継続的に取り組めるようにする。 ・コミュニケーションと主体性を大事にしながら指導を行う。 ・便座での排せつや、定時排せつは個に応じた指導を行う。 ・健康状態を把握し、水分量や姿勢を調整する。 ・安全に配慮する。 ・好きな活動を支えるようにする。 |
| 5 | | | ○身体を取組【健康の保持、身体の動き】 ストレッチ、うつ伏せ、四つ這い、立位、ウォーカー、介助歩行等 ◆できる動き、受け入れられる姿勢や動きを広げ、可動域や柔軟性を保持したり、筋力をつけたりする。 | |
| 6 | | | ◆呼吸状態を整えると同時に、筋緊張を緩め、学習へ向かう姿勢や気持ちを整える。 | |
| 7 | 排せつ指導 | | ◆学習によりよく向かうために、身体の各部位の力のコントロールを覚える。 | |
| 9 | | | ○排せつ指導【健康の保持、心理的な安定、環境の把握】 ◆おむつ替えの心地よさを感じ、心身を清潔に保つ。 | |
| 10 | | | ◆尿意・便意や排せつしたことを伝える。 ◆トイレで定時排せつをして生活リズムを整える。 | |
| 11 | 水分摂取の指導 | | ◆排せつ前にトイレに行けるようになる。 | |
| 12 | 自由遊び | | ○水分摂取の指導【健康の保持】 ◆一定量の水分を安全に摂取できる。 ◆正しい摂取・嚥下方法を獲得する。 | |
| 1 | | | ○自由遊び【人間関係の形成】 ◆友達や教職員とのやりとりを楽しみ、関わりを期待したり、自分から関わろうとしたりする。 | |
| 2 | 個別課題学習 | | ○持ち物の整理【環境の把握】 ◆自分の持ち物を意識し、主体的に操作しようとする。 | |
| 3 | | ○認知に関する個別課題学習【環境の把握、コミュニケーション】 ◆追視、注視、目と手の協応、シンボルの理解、言葉、文字の学習等を通して見たり、聞いたり、伝えたりする力を付ける。 | | |